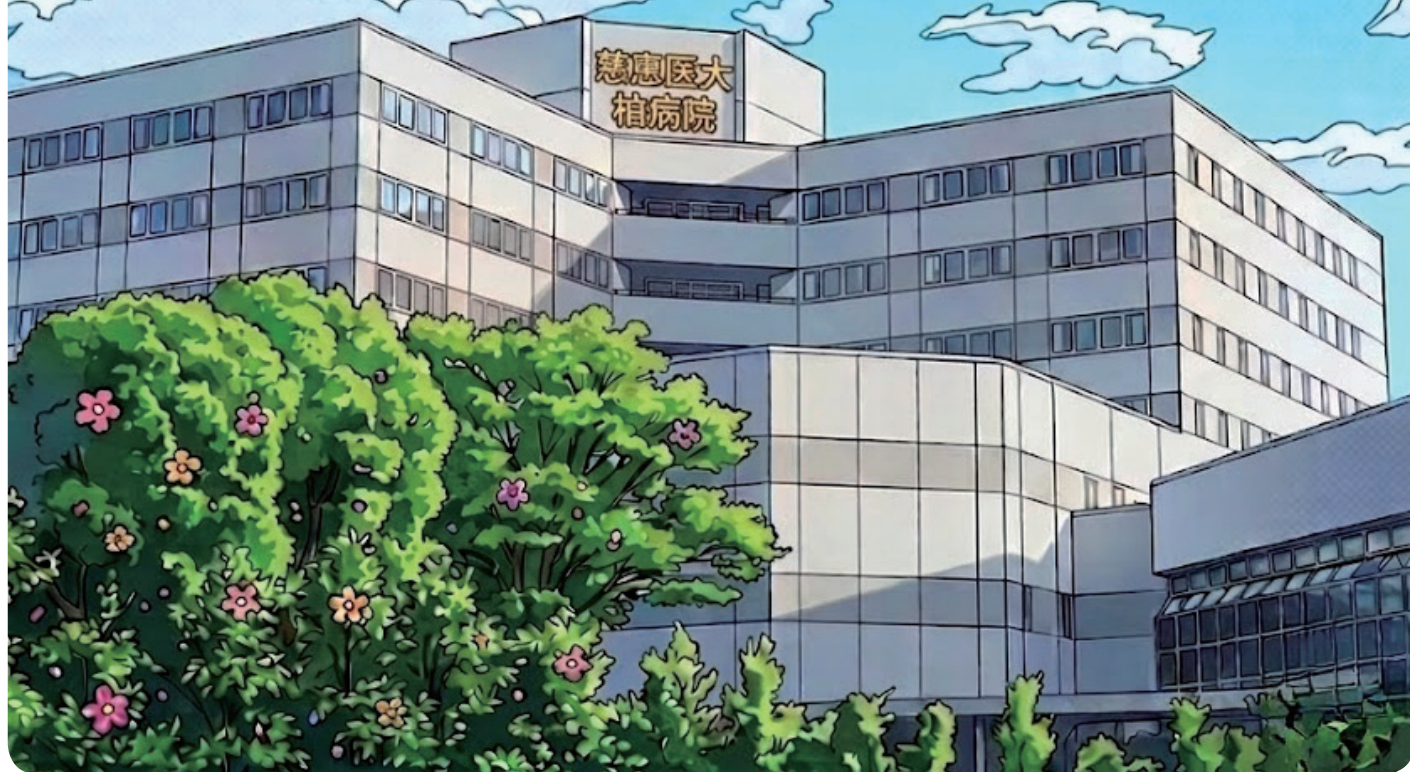


臨床研修医 募集要項

2027



東京慈恵会医科大学附属柏病院
THE JIKEI UNIVERSITY KASHIWA HOSPITAL



「病気を診ずして 病人を診よ」

建学の精神「病気を診ずして 病人を診よ」は、創設者高木兼寛が目指した「医学的力量のみならず、人間的力量をも兼備した医師の養成」を凝縮したものである。この精神は看護学教育にも「病気を看ずして 病人を看よ」として取り入れられている。本学の研究と医療を通じた社会貢献もこの精神のもとで行われる。

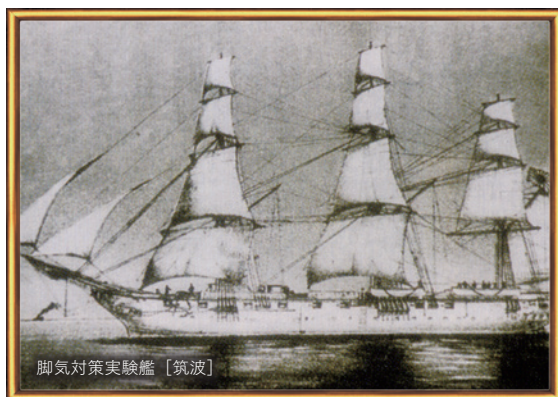
東京慈恵会医科大学の前身となる成医会講習所は、高木兼寛により明治14（1881）年に創設されました。それに先立つ6年前、高木はイギリスのセント・トーマス病院医学校に留学。人道主義に基づいたイギリス医学に深い感銘を受け、帰国後は、医療に見捨てられた貧しい人たちのために病院と医学校を作ることを決意します。

当時、日本の医学界は、病人を医学の研究材料のようにとらえる風潮がありましたが患者さんの心の痛みに共感し、患者さんを中心に考える医療こそ必要だと、高木は痛感したのです。その後、明治20（1887）年には時の皇后陛下のご意向により、「慈恵」の名を冠した病院「東京慈恵医院」が誕生しました。

この精神は、現在に至るまで色あせることなく受け継がれ、ここで働くすべてのスタッフのよりどころとなっています。医師、看護師をはじめ多職種が連携するチーム医療や、地域の病院や看護施設と協力する地域連携はその一例。入院から外来まで、慈しみ恵む「慈恵の心」をもって医療を実践しています。



創設以来、脈々と息づく挑戦スピリット



「患者さんを中心に据える医療とは何か?」「患者さんの病を治すために何ができるだろうか?」そうした自らへの問いかけに答えるべく、創設以来、私たちは未知の分野への挑戦を繰り返してきました。その象徴的なエピソードが、脚気の撲滅です。明治時代、コレラと並ぶ国民病だった脚気。多くの病死者を出した原因不明のこの病は、創設者・高木兼寛が挑んだある研究によって撲滅されました。高木は脚気の原因を、当時主流だった細菌感染説を退けて、栄養の欠陥によるものだと主張。軍医として責任者を務めていた海軍の練習船を舞台に、遠洋航海中の食事による大規模介入試験を行って自説を科学的に証明しました。その結果、脚気を撲滅し、大勢の命を救ったのです。

この取り組みが後のビタミンの発見に大きく貢献したことから、高木は「ビタミンの父」として世界的な評価を受けています。また、日本の医学の発展と向上に生涯を捧げた彼の挑戦スピリットは後進へと引き継がれ、現在に至るまで数多くの最新医療を生み出してきました。その取り組みは日本の医療界をリードするとともに、患者さんの治療にも生かされています。



東京慈恵会医科大学
附属柏病院
病院長 吉田 博

（大学について）

慈恵医大は、1881年（明治14年）に学祖・高木兼寛先生が開設した、成医会講習所を起源としています。慈恵医大柏病院は、『病気を診ずして病人を診よ』という建学の精神のもと、患者さんの視点に立った全人的医療、患者さん中心の「説明と同意」に基づいた良質な医療の提供を追求しています。この思想は140有余年の歴史の中で色あせることなく基本的精神として受け継がれ、現在もお教職員の中に浸透しています。「病気を診ずして病人を診よ」という建学の精神は、これらの歴史的背景を簡潔かつ明瞭に表現されたものであり、教職員、同窓はもとよりさまざまな広報を通じて、広く社会にも知られています。また現在、大学の理念たる建学の精神を日常の活動のなかで具現化し行動化するべく、「患者さんの思いに応える教育・研究・医療を」として日々取り組んでおります。

私達は、この理念のもとに高い倫理観を持ち、つねに患者さんの立場を尊重しながら「病者を病に悩む人間とみる医風」を実証し続けています。また、「医師と看護婦は車の両輪の如し」との信念に基づき、わが国最初の看護婦教育所を1885年（明治18年）に設立し、建学の精神に則った全人的医療を開始しました。

（当院の場所）

東京慈恵会医科大学附属柏病院は上野駅より常磐線にて約30分の北柏駅から徒歩10分（バスにて3分）の地に1987年に開設され、手賀沼を望む緑豊かな田園風景の広がるのどかな環境の中にあります。2015年3月にはJR上野東京ラインが開通し、都心からのアクセスも一層便利になりました。

（当院の使命）

慈恵医大柏病院の使命は、『“患者を診る”慈恵の心とともに、急性期医療を推進し地域に貢献する大学病院』であり、それは持続し進化を続けるビジョンでもあります。東葛地域やその周辺地域に貢献する基幹病院として急性期医療・患者さんの思いに応える医療を実践するとともに、大学病院として研究を推進し、教育を通じ優れた医療人の育成も重要な役割であると考えております。

（当院の特徴）

当院は1987年4月、千葉県柏市より大学病院誘致の要請を受け、手賀沼を望む緑豊かな地に、慈恵医大4番目の附属病院として開設し、本年で39周年を迎えます。西新橋の附属病院（本院）に次ぐ664の病床を有しており、29の診療科と12の中央診療部門を持ち、1,300人以上のスタッフが勤務しています。毎日平均1,300人の外来患者さんを受け入れ、年間約8,000件の手術を実施し、2,200件の新規がん患者さんを登録、8,200人の救急患者さん、4,500台の救急車を受け入れています。

これまでに当院は災害拠点病院、東葛北部地域難病相談支援センター、地域がん診療連携拠点病院、救命救急センター、エイズ治療拠点病院、地域医療支援病院の指定を受け、多種多様な役割を担う大学病院に変革を遂げてきました。地域医療連携と急性期医療の推進とともに、医療安全と新型コロナウイルス感染症など新興感染症の対策、ロボット支援手術をはじめとした先進的医療に取り組み、患者さんの健康のために役立つ医療に貢献してまいります。

（研修について）

当院の研修プログラムは、必修科目、選択必修科目、地域医療研修、選択科目から構成され、選択科目期間においては慈恵医大附属4病院で研修が可能です。平成28年度からは、他の慈恵医大附属3病院に先駆けて総合診療能力重点研修プログラムを加え、現在では内科重点研修プログラムとして整え、地域医療に貢献できる医師の育成にも力を入れています。2026年研修医募集までは基本プログラム、内科重点プログラム、産科重点プログラム、小児重点プログラムでしたが、2027年募集からは小児重点プログラムに代わり、外科重点プログラムとして慈恵医大4病院のなかでも全国的にみても特徴的な研修プログラムを用意していますので、是非ご検討ください。

また、研修医主導の勉強会が毎週開催され、必修科の指導責任医師との意見交換会が隔月開催されるなど、研修医の意見、要望を随時取り入れ、研修カリキュラムに活かす配慮がなされています。研修医向けに院外施設を利用した外科実技研修をはじめ、院内で開催されるCPC、各科カンファレンス、セーフティマネジメント、感染対策、保険診療、緩和ケアなどの講習会にも参加できます。各診療科の指導医がいるスタッフルーム内に研修医の各個人ごとの机が用意され、指導医と常に連携がとれる環境が整備されています。

2年間の初期臨床研修の後は、各志望科の認定専門医資格の取得を目標とする慈恵医大での3年間の後期専門修得コース（レジデント）にスムーズに移行することができます。

ここ10数年にわたる、病院メインエントランスの改築、新病棟や外来手術センターの開設、電子カルテシステムの導入、外来棟や管理棟の建設および手術室等の改修などの大規模な整備工事の結果、経カテーテル大動脈弁植込み術（TAVI）やロボット手術の拡充やハイブリッド手術の発展など病院機能も格段と向上しています。

このように不易流行・承前敬後のスピリッツのなかで、人々の健康のために医学・医療の発展を目指し進化し続ける柏病院において、プライマリ・ケアを実践するための基本的な臨床能力と総合的かつ先進的な診療技能の修得を目指して、楽しく充実した初期臨床研修の2年間を過ごしていただきたいと思います。

1

オリエンテーション

柏病院の研修
災害医療
輸血医療の基礎
抗がん剤の血管外漏出
医療事故と医療訴訟説明
健康保険制度と保険医
実戦形式研修 等



2

ICLS コース



骨髄路確保のシュミレーション
BLS（一次救命処置）
気道管理
VF/pulselessVT
PEA/Asystole
CVC研修 等



3

勉強会
（毎週木曜日）



レントゲンや心電図の読み方
創傷に対する縫合法
せき損の急性期対応
結核の診療基本
ICU診療全般等

聞きたい・見たい・知りたい
色々学べます！

病床数
664床

年間手術件数
（2025年度実績）
8,177件

年間救急車
受入件数
（2025年度実績）
4,324件

1日平均
外来患者数
（2025年度実績）
1,292人

1日平均
入院患者数
（2025年度実績）
512人



2027年度東京慈恵会医科大学附属柏病院 研修科目及び研修例

基本プログラム

第1年目													第2年目												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
内科16週				救急8週		麻酔8週		外科4週	小児科4週	産婦人科4週	選択科8週		精神科4週	地域医療・外来U8週	救急4週	外科4週	内科8週		選択科20～24週						

- 必修科目は内科（24週）、救急部（12週）、外科（8週）、麻酔部（8週）、精神神経科（4週）とする。
- 選択科目履修期間は、必修科目、選択必修科目を含めて全科（本院・葛飾・西部含む）より自由選択とする。
- 但し、1年目に履修する選択科目は、柏病院の診療科とする。
- 地域医療研修は8週間行うことが望ましい。
- 地域医療研修中に3週間の一般外来研修を行う。（地域医療研修と外来研修の平行研修）
- 選択科目
消化器・肝臓内科、脳神経内科、腎臓・高血圧内科、リウマチ・膠原病内科、循環器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、腫瘍・血液内科、呼吸器内科、総合診療部、外科、麻酔科、救急科、精神神経科、小児科、産婦人科、皮膚科、放射線科、整形外科、脳神経外科、形成外科、心臓外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、リハビリテーション科、内視鏡部、感染制御部、病院病理部、集中治療部（ICU）
- 地域医療連携医療施設
隠岐広域連合立 隠岐島前病院、新潟県厚生連 佐渡総合病院、青嵐会 本荘第一病院、医療法人社団葵会 柏たなか病院、医療法人双泉会 いずみホームケアクリニック、柏市立柏病院、キッコーマン総合病院、医療法人慶友会 守谷慶友病院、医療法人社団天宣会 北柏リハビリ総合病院、復光会 総武病院、ホームケアクリニック横浜港南、医療法人社団ささえる医療研究所ささえるクリニック岩見沢

外科医重点育成プログラム

第1年目													第2年目												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
内科16週				救急8週		麻酔8週		外科4週	小児科4週	産婦人科4週	選択科8週		精神科4週	地域医療・外来U8週	救急4週	外科8週	内科8週		選択科16～20週						

- 必修科目は内科（24週）、救急部（12週）、外科（12週）、麻酔部（8週）、精神神経科（4週）、小児科（4週）、産婦人科（4週）とする。
- 選択科目履修期間は、必修科目、選択必修科目を含めて全科（本院・葛飾・西部含む）より自由選択とする。
- 地域医療研修は8週間行うことが望ましい。
- 地域医療研修中に3週間の一般外来研修を行う。（地域医療研修と外来研修の並行研修）



2025年度研修修了式



2024年度臨床研修医修了記念パーティーの様子

2027年度東京慈恵会医科大学附属柏病院 研修科目及び研修例

産科医重点育成プログラム

第1年目													第2年目												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
内科16週				救急8週		麻酔8週		外科4週	小児科4週	産婦人科4週	選択科8週		精神科4週	地域医療・外来U8週		救急4週	産婦人科8週		内科8週	選択科16～20週					

- 必修科目は内科（24週）、救急部（12週）、外科（4週）、麻酔部（8週）、精神神経科（4週）、産婦人科（12週）、小児科（4週）とする。
- 選択科目履修期間は、必修科目、選択必修科目を含めて全科（本院・葛飾・西部含む）より自由選択とする。
- 地域医療研修は8週間行うことが望ましい。
- 地域医療研修中に3週間の一般外来研修を行う。（地域医療研修と外来研修の並行研修）

内科重点プログラム

第1年目													第2年目												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
内科16週				救急8週		麻酔8週		外科4週	小児科4週	産婦人科4週	選択科8週		精神科4週	地域医療・外来U8週		救急4週	内科12週				選択科20～24週				

- 必修科目は内科（28週）、救急部（12週）、外科（4週）、麻酔部（8週）、精神神経科（4週）、小児科（4週）、産婦人科（4週）とする。
- 選択科目履修期間は、必修科目、選択必修科目を含めて全科（本院・葛飾・西部含む）より自由選択とする。
- 地域医療研修は8週間行うことが望ましい。
- 地域医療研修中に3週間の一般外来研修を行う。（地域医療研修と外来研修の並行研修）



研修室



2026年度入職 研修医

2027年度 東京慈恵会医科大学附属柏病院 臨床研修医 募集要項

1. 応募資格

- 1) 第121回医師国家試験合格見込みの者
- 2) 医師国家試験合格後臨床研修を実施していない者

2. 募集定員

- 1) 基本プログラム：19名
 - 2) 外科医重点育成プログラム：2名
 - 3) 産科医重点育成プログラム：2名
 - 4) 内科重点プログラム：2名
- ※2)、3)、4)の履修者であっても将来の進路が限定される訳ではありません。ローテーションは一般プログラムと同様、本人の希望に沿った幅広い選択が可能です。

3. 研修期間

2027年4月から2029年3月まで

4. 研修科目

4・5ページ研修科目及び研修例参照

5. 業務内容・配属機関・勤務時間等

業務内容：医師業務
配属機関：東京慈恵会医科大学附属柏病院および臨床研修プログラムに定める外部施設
勤務時間：[月曜日～金曜日] 9時～17時 [土曜日] 9時～15時
※勤務部署により時差別勤務あり
※1ヶ月単位（週平均実働40時間／1ヶ月）の変形労働時間勤務あり
所定時間外労働：あり
休憩時間：1時間
休日・休暇：日曜、祝日、創立記念日（5月1日）、年末年始、振替休日制度あり
その他、年次有給休暇、産前産後休暇あり（就業規則及び規程による）

6. 身分及び処遇

身分：附属柏病院長直属の臨床研修医
基本手当：245,000円（定額緊急勤務手当45,000円（29時間相当分）を含む）
※定額緊急勤務手当額を超えて時間外労働を行った場合は、その時間に応じて緊急勤務手当を支給する
【月収例】月額約295,000円（宿日直料、通勤手当等含む）
通勤手当：通勤手当支給規定による
その他：宿直手当・日直手当などの支給制度あり
社会保険：加入
宿舎：あり（寮費：院内寮 19,000円、北柏寮 25,000円）

7. 選考方法

当院選考委員会の選考（模擬患者との医療面接、小論文、個人面接）を経て決定する。

8. 応募手続

- 1) 願書（採用申請書）
 - 2) 履歴書
 - 3) 推薦状
 - 4) 成績証明書
 - 5) 医療系大学間共用試験実施機構が実施するCBT個人別成績表の写し
 - 6) 卒業証明書（見込み）
- ※1) 願書（採用申請書）、2) 履歴書、3) 推薦状については、当院所定の書式にて提出してください。
各書式はホームページからダウンロードできます。履歴書には必ず写真を貼付のうえ、捺印してください。
なお、左記の応募手続書類を全て提出いただいで応募完了となります。ホームページ上のフォームに入力しただけでは応募となりませんのでご注意ください。

9. 応募書類提出期間、採用試験日

当院は医師臨床研修マッチングに参加する。

- 1) 募集期間
1回目 本学学生対象：2026年6月8日（月）～2026年7月3日（金）（17時必着）
2回目 他学学生対象：2026年7月6日（月）～2026年7月24日（金）（17時必着）
- 2) 採用試験日
1回目 本学学生対象：2026年7月18日（土）
2回目 他学学生対象：2026年8月8日（土）
※当日の詳細については追って通知する。

10. 応募書類提出、問い合わせ先

〒277-8567 千葉県柏市柏下163番地1
東京慈恵会医科大学附属柏病院 管理課
Tel 04-7164-1111（内線2185・2189）
詳細はホームページを参照して下さい。
当院以外の附属病院（本院、葛飾医療センター、西部医療センター）の併願を希望される場合は、上記の担当までその旨をお問い合わせください。

11. 応募者の個人情報について

ご提出いただいた応募書類（申請書、履歴書等）に記載してある個人情報は、採用試験、及び医師臨床研修マッチング協議会への登録に限り使用いたします。
また、応募書類の閲覧については、採用試験に関わる当院の面接官、担当職員に限定いたします。
但し、臨床研修に関する外部からの各種調査については、個人が特定されないよう配慮したうえで、回答する場合がありますのでご了承いただきたくお願い申し上げます。

病院見学・説明会について

■ 病院見学・実習の受入について

慈恵医大柏病院では、初期臨床研修プログラムの必修科目を含めすべての診療科において病院見学・実習を受入れております。当日は研修担当医師による初期臨床研修プログラムの説明や施設見学も可能です。また研修医と一緒に動くことも可能ですのでご希望をお聞かせください。申し込みは随時受付をしておりますので、電話またはメールにて申し込みください。

【申し込み先】

東京慈恵会医科大学附属柏病院 管理課（担当：田丸・比嘉・平田）

電話：0570-04-7164(ナビダイヤル) 内線2185・2189

メールアドレス：kasiwa-kenshu@jikei.ac.jp

■ 2027年度採用・研修説明会を開催します

当院における臨床研修医の特徴、プログラム全般に関する事項、応募手続、研修修了後等に関する説明会を以下の日程で開催します。皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日程	時間	開催方法
6月13日（土）	10：00～11：00	Zoomを用いたリモート開催

● 申込方法 以下QRコードより申し込みをお願いします。

【問い合わせ先】

東京慈恵会医科大学附属柏病院 管理課

0570-04-7164(ナビダイヤル) 内線2185・2189 担当：田丸・比嘉・平田



寮外観



寮の室内



当直室



寮の室内



■ J R 常磐線 北柏駅下車

南口より徒歩約10分

南口より阪東バス 終点 慈恵医大柏病院下車

■ J R 常磐線 柏駅下車

東口より徒歩約25分

東口3番乗り場より阪東バス
慈恵医大柏病院・ウェルネス柏行
慈恵医大柏病院下車



東京慈恵会医科大学附属柏病院

管理課 臨床研修担当

〒277-8567 千葉県柏市柏下163番地1

電話 0570-04-7164 (ナビダイヤル)

内線2185または2189



附属病院のご案内

東京慈恵会医科大学附属病院

〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18

電話 03-5400-1200

■ 地下鉄

都営三田線 御成門 A5出口 約3分
内幸町 A3出口 約10分
日比谷線 神谷町 3出口 約7分
虎ノ門ヒルズ A1出口 約9分
銀座線 虎ノ門 1出口 約10分
銀座線・都営浅草線 新橋 8出口 約12分
丸の内線・千代田線 霞ヶ関 C3出口 約13分

■ J R 新橋駅 下車 徒歩12分

■ J R 浜松町駅 下車 徒歩15分

■ 新交通ゆりかもめ 新橋駅下車 徒歩13分

■ バス (東急)

東京駅南口～(目黒駅経由)～等々力操車所
「慈恵会医大前」または「愛宕山下」下車
東京駅丸の内南口バス乗り場(1番)より約20分



東京慈恵会医科大学葛飾医療センター

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

電話 03-3603-2111 (代表)

■ 京成線 青砥駅下車

バス約6分/タクシー約5分/徒歩約10分

○京成バス

(慈恵医大葛飾医療センター行き・直通バス)

京成青砥駅ユアエルム青戸前

～慈恵医大葛飾医療センター下車

■ J R 常磐線 亀有駅下車

バス約10分/タクシー約5分

○京成タウンバス

(慈恵医大葛飾医療センター行き・直通バス)

亀有駅～慈恵医大葛飾医療センター下車

○京成タウンバス (新小58系統)

亀有駅～新小岩駅(環七経由)

慈恵医大葛飾医療センター下車 徒歩約3分



東京慈恵会医科大学西部医療センター

〒201-8601 東京都狛江市和泉本町4-11-1

電話 03-3480-1151 (代表)

■ 京王線 国領駅下車

南口より徒歩約12分

■ 京王線 調布駅下車

南口よりバス約10分 慈恵医大西部医療センター下車

京王バス つつじヶ丘駅行

小田急バス 成城学園・渋谷駅・二子玉川・狛江駅行

■ 小田急線 狛江駅下車

北口よりバス約10分 慈恵医大西部医療センター下車

小田急バス

慈恵医大西部医療センター行(終点)

武蔵境駅南口行 慈恵医大西部医療センター下車

京王バス

調布車庫前行 慈恵医大西部医療センター下車

調布駅南口行 慈恵医大西部医療センター下車

